

# 脱炭素経営フォーラム

～ファッション産業のサプライチェーン全体の  
排出量削減に向けて～

2023年3月



ワールドグループ (5 4 社)

「ブランド事業」をはじめ、「プラットフォーム事業」、「デジタル事業」の3つの事業を柱に展開

(22/3末時点)



売上高  
1,713  
億円



店舗数  
2,401  
店舗



ブランド数  
61  
ブランド



従業員数  
8,388  
名

本日の  
内容

ブランド事業  
(29社)

デジタル事業  
(9社)

プラットフォーム事業  
(15社)



UNTITLED



TAKEO  
KIKUCHI



OPAQUE.CLIP

2005年から環境に配慮した取り組み開始、エコロモキャンペーンは14年間継続  
 2022年6月に、アパレル事業のScope3は、20%/点削減（～2030年）の目標を設定  
 ワールド・サスティナビリティプランにて開示

**eco rōmo** エコロモキャンペーン

**1** ワールド製品以外の衣料品でもOK!  
 「もう着ないかな」という不用になった衣料品をお引き取り会場までお持ちください。

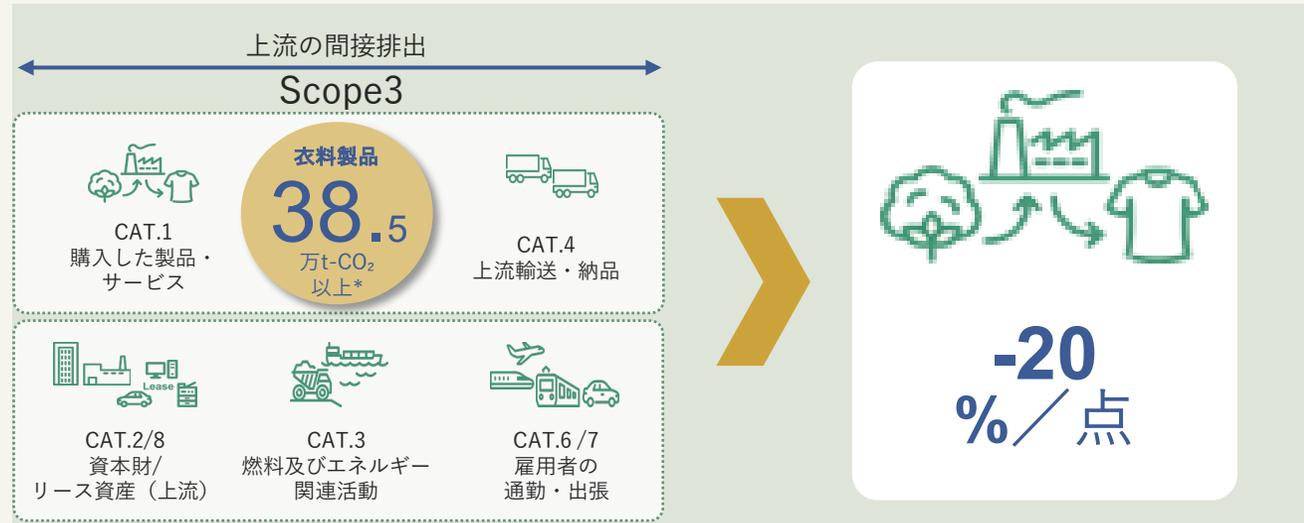
**2** 衣料品をOFFチケットと交換  
 お引き取り枚数とOFFチケットの金額は店舗によって異なります。

**3** 必要な方にお洋服をつなげます  
 お引き取りした衣料品はリサイクルパートナーを通じて、国内・海外での再利用やリサイクルにつなげます。

**4** 収益金は子ども達の未来のために  
 リサイクルパートナーからの引き取り金は、支援を必要としている子ども達のための基金へ寄付します。

子ども達を支援

環境負荷



サスティナビリティプラン

2022  
 WORLD SUSTAINABILITY PLAN

WORLD

## はじめに

スコープ3における  
初期的な計算

生地ができるまでの原料工程を一括りにし、その後の自社工場での縫製と、倉庫までの輸送の大きく3工程で試算



原料段階の排出量が多くを占めることを認識し、サステイナブル素材への切り替えを推進



課題認識

サステイナブル素材切り替えによる排出量の削減率は自社だけではわからない

目標達成に向けて他にどの程度の削減量が必要なのかが分からない



今回の取り組み

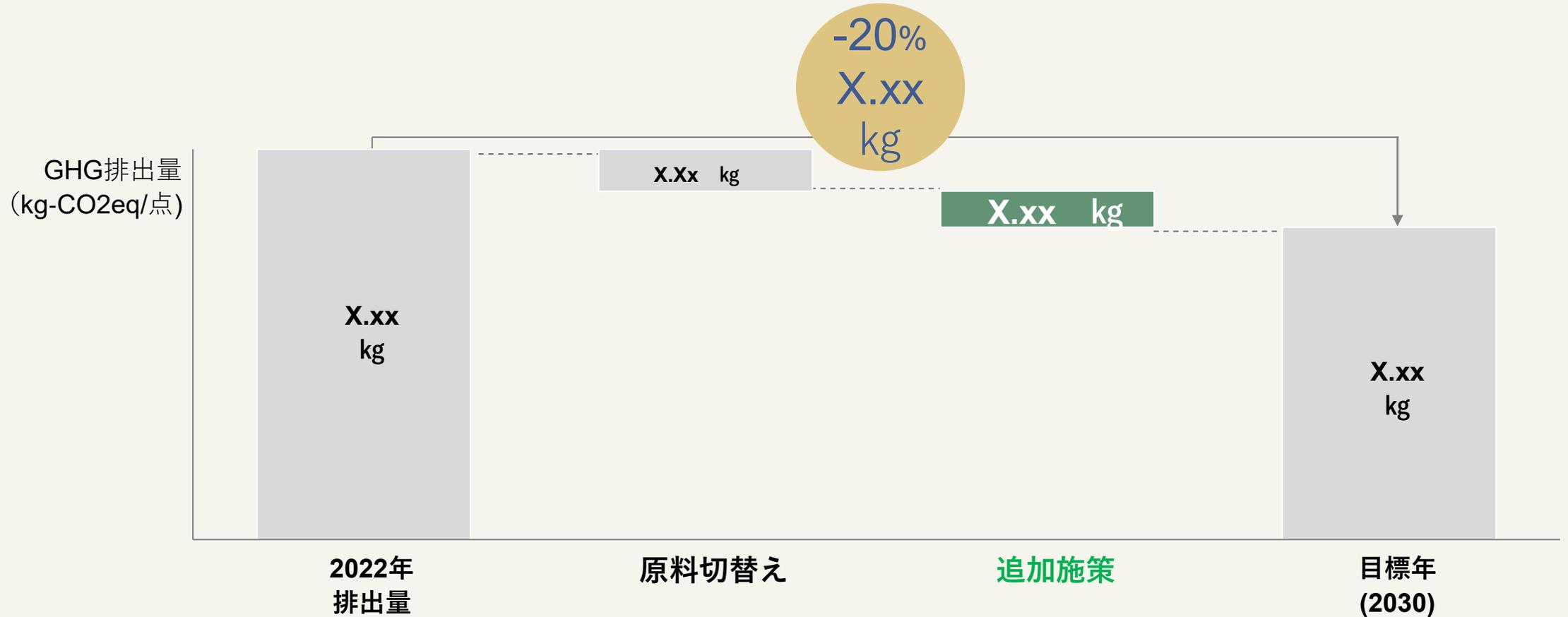
サステイナブル素材を共同開発するサプライヤー様（中伝毛織(株)様・豊島(株)様）の協力

削減率の明確化・サプライチェーン全体での削減施策の検討

可視化のターゲットは、自社商品の原料として使用されている量の多い ポリエステル、コットン、ウール

## 削減目標と必要な削減量

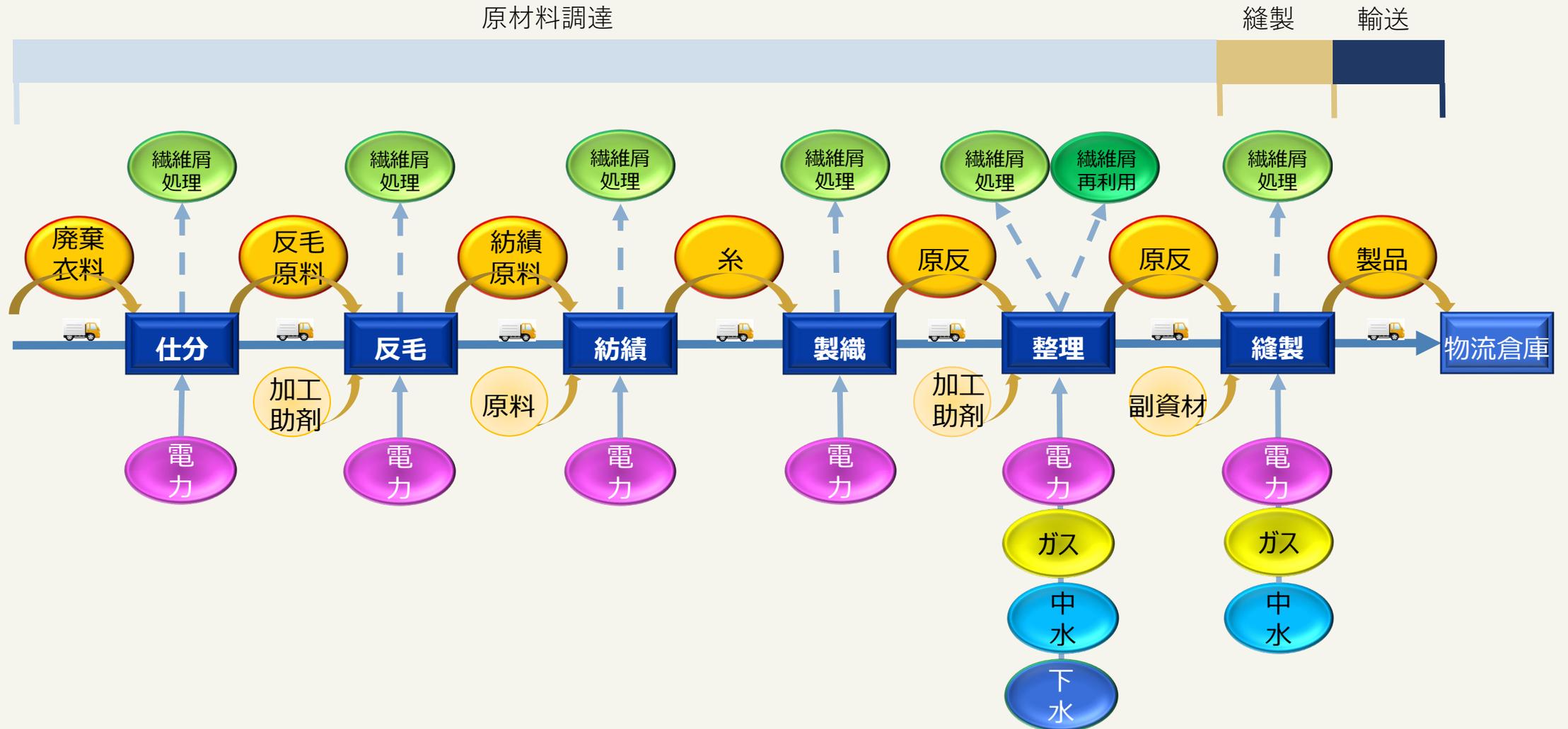
目標達成のための具体的な1着当たりの排出量を認識  
サステイナブル素材への切替え以外にも追加施策が必要



\* CAT.1の一部とCAT.4のみ。それ以外の排出源に関する削減目標は、現状を可視化後別途設定

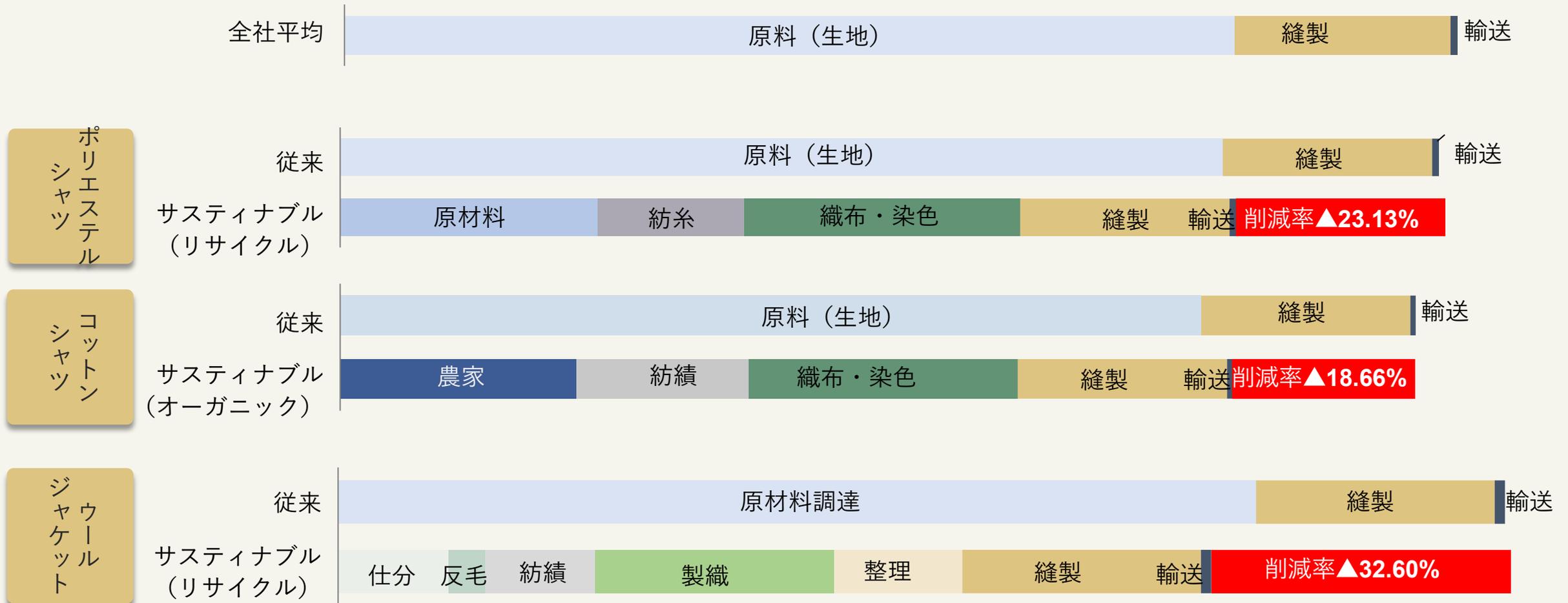
# 服1点当たりの排出量の内訳

原料切り替えによる具体的な削減率を明確にするために  
これまで一括りにしていた原材料調達までの排出量について、各工程毎の排出量を可視化



# 服1点当たりの排出量の内訳

工程別×素材別の排出量を算出  
サステイナブル素材を使用した場合のGHG削減率を可視化



※各種素材の混用率が100%の場合

# 服1点当たりの排出量の内訳

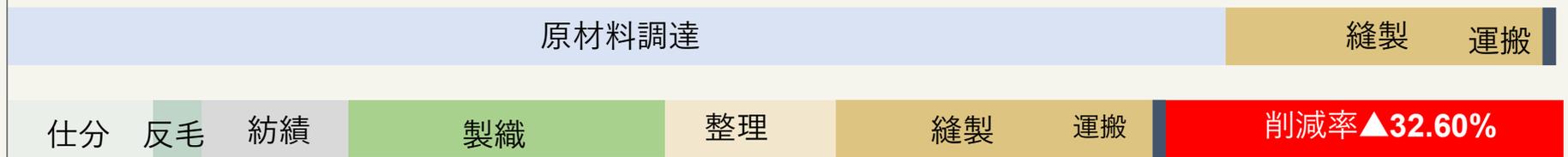
従来（バージンウール）とリサイクルウールでは、30%以上の排出削減効果が見込める  
それぞれの紡績工場までのプロセスの違いに大きく起因



飼育中の羊からのメタン（CH<sub>4</sub>）や亜鉛化窒素（N<sub>2</sub>O）排出  
など紡績工場に至るまでの工程で大量のGHGを排出

従来

サステイナブル  
(リサイクル)



リサイクルウールの場合、回収品自体の排出原単位は0  
手作業を中心とした処理を施すため、紡績工場前までの排  
出量を抑えることが可能



ジャ  
ウ  
ケ  
ッ  
ト

## Scope3（上流）排出削減施策

素材切り替え以外も含め、既に実行中や実行が決定している施策に加え、  
各工程毎に効果のある施策を抽出

原材料調達

紡績

織布・染色

縫製

運搬

1 2 製品原料をサスティナ素材へ切り替え

3 4 副資材のサスティナ素材化  
リユース・リサイクル

9 サークュラーモデル

13 グリーン調達

15 サプライヤーエンゲージメント

7 無水染色

5 6 8  
新たな価値の服の開発

14 適正生産

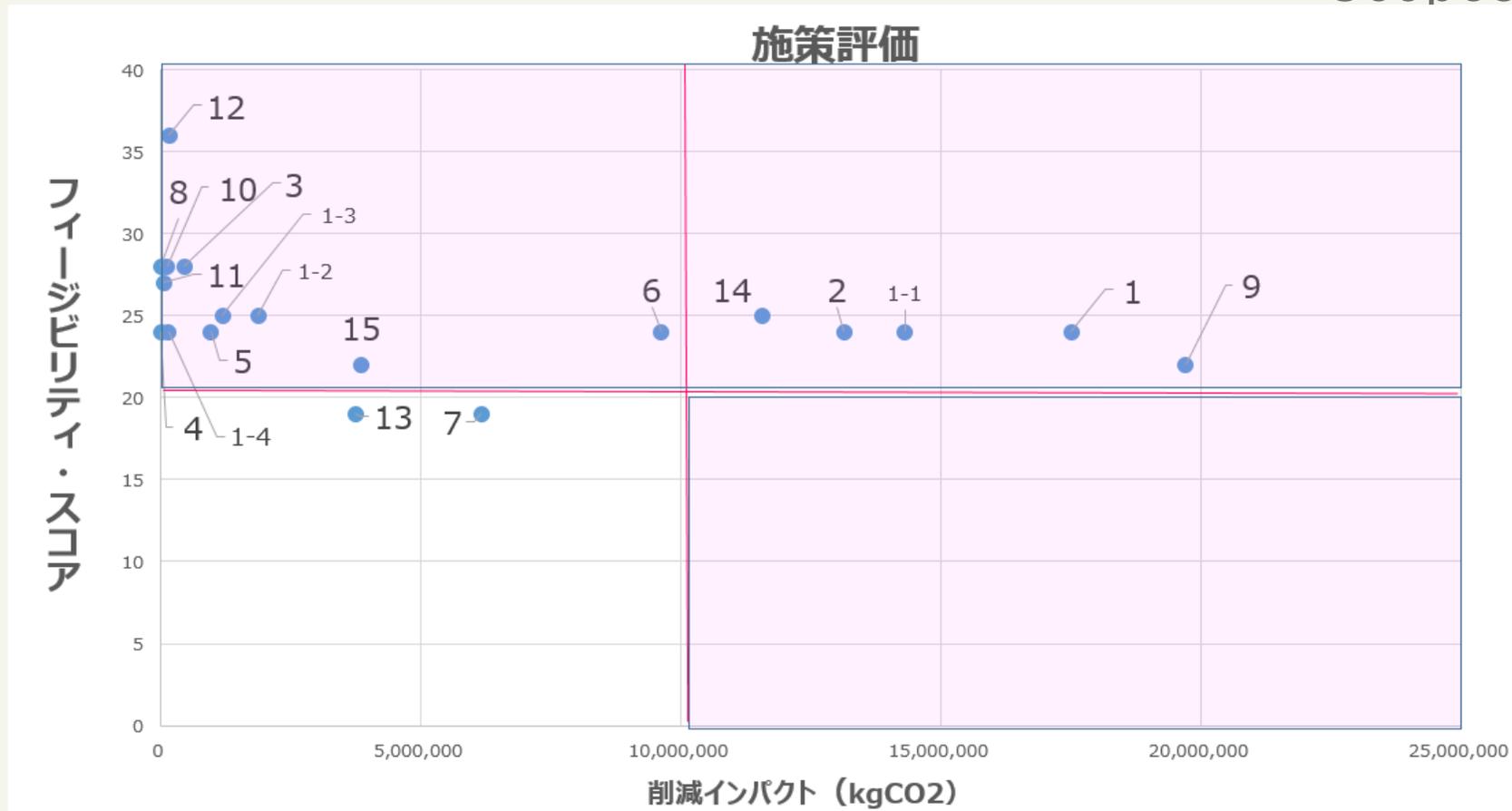
10 11  
国内工場へのシフト  
アソート

12  
貨物集約

## Scope3（上流）排出削減施策の優先順位付け

各施策毎に削減インパクトとフィージビリティを評価し、2030年目標（20%削減）達成を目指し  
Scope3では、フィージビリティ・スコア 20以上または削減インパクトが1万t - CO2eqの施策を実行する

## Scope3



## Scope3（上流）排出削減施策の優先順位付け

2030年までに実施の施策候補は、サステイナブル素材への切り替え、サーキュラーモデル導入など13項目  
サプライヤー様との協力が不可欠

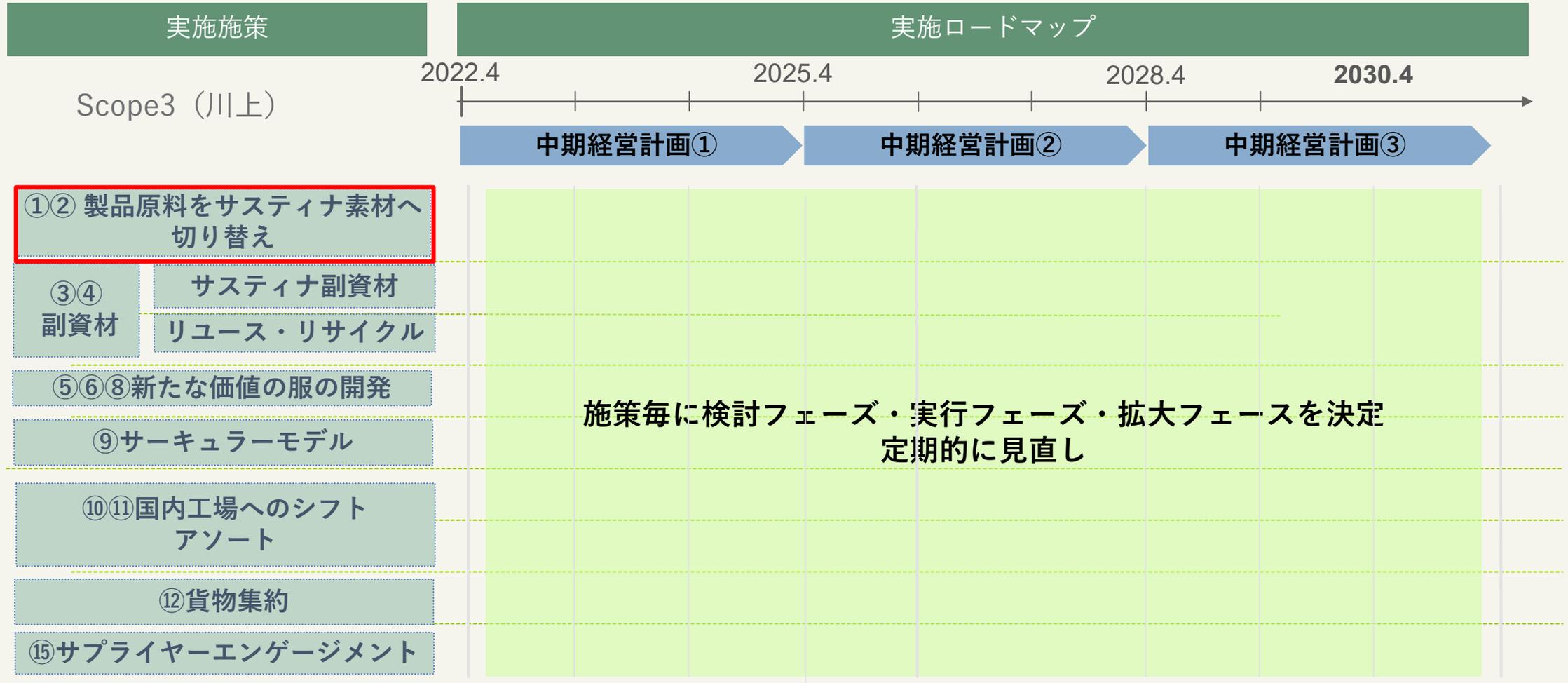
### Scope3

NO	施策
1	製品原料をサステイナ素材へ切り替え
2	製品原料をサステイナ素材へ切り替え拡大
3	副資材をサステイナ原料に切り替え
4	服飾資材のリユース・リサイクル
5	新たな価値の服の開発（・・・）
6	新たな価値の服の開発（・・・）
8	裁断ロス削減
9	サーキュラーモデル
10	地産地消、国内工場への切り替え
11	アソート
12	輸入貨物集約
14	適正生産
15	サプライヤーエンゲージメント



# ロードマップ

各施策にKPIを設定し、アクションを具現化  
サステナブル委員会（グループのサステナブル経営推進機関）でモニタリング



サプライヤー様と共同開発したサステナブル素材をブランド化（CIRCRIC）  
2月展示会（2023年AWより展開）



—ファッション産業の多様性と持続可能な社会を目指して—

## 「GHGを可視化したサステナブル新素材」を開発

環境省事業を通じて企業を横断して成果創出



### 「再生ウール」

#### GHGを33.7%削減 ※

※ウール原料（紡績、織布、加工）の製造工程における対バージン比のGHG削減率

共同開発企業：中伝毛織株式会社（愛知県一宮市）

紡績段階での落ち綿とウール混率90%以上のニット商品、ウールの裁断端材等からアップサイクルした「再生ウール」をベースにコート、ジャケット、ボトム用の素材を開発。資源を再利用することで羊の飼育にかかわるGHG排出を削減した。

### 「再生ポリエステル×オーガニックコットン」

#### GHGを23.4%削減 ※

※ポリエステル、コットン原料（紡績、織布、加工）の製造工程における対バージン比のGHG削減率

共同開発企業：豊島株式会社（愛知県名古屋市）

ペットボトルから再生した「リサイクルポリエステル」とトレーサビリティ可能な「オーガニックコットン」を混紡した汎用性の高いシャツ素材を開発。どちらもバージン原料（従来の製造方法による原料）と比較して大幅なGHG排出量削減を実現。

# まとめ

工程別の排出源の分析により、優先的にアプローチすべき排出源が明確になった

今回、サステイナブル素材を利用した場合のGHG削減率を明確化



サステイナブル素への切り替え実績をシステム管理



削減施策に優先順位をつけてロードマップ化して推進



サプライヤー様  
ファッション業界連携

価値ある企業活動

# ご清聴頂き 有難うございました

2022

WORLD  
SUSTAINABILITY  
PLAN



 WORLD

 **WORLD**